

## (参考) ■平成22年度助成事業一覧

(順不同)

| 助成団体名                         | 事業概要   |
|-------------------------------|--|
| 財団法人<br>京都市体育協会               | 地域住民の憩いの場である公園で、周辺住民(団体)と協力し、快適で楽しいエコ活動(堆肥づくり、みどりのカーテン、雨水タンクの活用)に取り組み、子どもたちの環境教育の一環として循環型社会を学べるような公園にすると共に、さらに多くの方に環境活動に興味をもってもらう。   |
| Ladies Eco Circle<br>“プラムロード” | 家庭の台所から湧き出た「おばちゃんパワー」と「おばちゃんの知恵」で、子どもたちへの環境教育(分別ごみ箱プロジェクト・ミミズコンポストの体験・夏祭りでのリユース食器使用や紹介などの啓発活動など)に取り組む。   |
| 葵プロジェクト                       | 従来「産業廃棄物」として多くが焼却処分にされている寺社境内の大量の落ち葉を、廃棄することなく腐葉土化し、当該寺社に関連する花木(二葉葵など)の苗床として活用し、循環型社会創出に向けて啓発を行うと共に、CO2 排出削減に寄与する。また、栽培した二葉葵は葵祭に用いると共に、広く市内外の人々に提供し、環境啓発に役立てる。                               |
| エコせっけんを<br>すすめる会              | これまで出前講座などで広めていた使用済てんぷら油を使ったエコせっけんづくりについて、よりわかりやすく楽しい内容のDVDとミニ冊子を作成し、さらなる普及を促す。完成したDVDは、地域ごみ減量推進会議をはじめ地域で活動する団体に貸し出し、ごみの減量化や地域温暖化の防止に貢献するとともに、地域コミュニティの活性化(地域の絆の再認識)や地域ごみ減の新たな取組メニューにつなげていく。 |
| 京都でエコ会議<br>実行委員会              | 会議やシンポジウム実施の際の飲料提供方法を、環境配慮型のものに代替することを目的とし、京都市内の会議施設とその周辺の飲料提供事業所のリストを作成し、リユースびんを使った飲料の配達のしくみを整備する。また、京都市内の会議施設の湯茶提供設備の有無等についての、情報を整理する。   |
| 京都YWCA<br>スリフトショップ            | リサイクル・リユースの推進活動35周年を記念し、さらに広く市民に同活動の意義を知らせる講演会および専門家、実践者、一般市民を交えた意見交換会を開催する。またリーフレットを作成し、35年間根付いてきた使い捨てでない「資源を活かす暮らし」のシステムを広く市民に伝える。   |
| 特定非営利活動法人<br>コンシューマーズ京都       | 蛍光管の適正処理・再資源化のための具体的な活動を推進するため「蛍光管リサイクル協会」設立を目指し、啓発活動(蛍光管リサイクルについてのチラシ・DVDの作成)、調査研究(蛍光管のコミュニティ回収実験)・提言、行政や地域団体や事業団体との協働の取組の連絡調整などを行い、「協会」の活動の枠組みを作り上げる。                                      |
| びっくり!エコ<br>実行委員会              | イベントやWEB等を通じて、循環型社会構築に向けたキーワードである「2R(リデュース・リユース)」を広く発信すると同時に、市民や企業関係者の声を集めて、実際に2R型商品の開発を目指す。   |
| 京都経済短期大学<br>洛西・地域研究センター       | 小畑川の清掃活動を通じて、参加者にごみ問題や環境問題を身近に感じてもらい、また、地域との交流を図る。同時に、住民主体の環境保全活動について勉強会を行い、環境意識を高める。  |